

植物防疫情報 第4号

平成 21 年 7 月 30 日
岡山県植物防疫協会
岡山県病虫害防除所

水稻いもち病（中生種・晩生種）の防除の徹底について

岡山県病虫害防除所が 7 月 27～28 日に行った巡回調査によると、中生種、晩生種が中心に作付けされている県南部地帯において、葉いもちの発生圃場率が 83.3% で平年（60.8%）よりやや多く推移しています。例年では、葉いもちは梅雨明け後の高温少雨条件により病勢が停滞します。しかし、梅雨明けの時期がはっきりしなかった平成 5 年には、いもち病の発生に好適な気象条件（低温多雨）が続き、穂いもちが多発生しました。葉いもちは穂いもちの伝染源となります。今後も曇雨天が続く場合には、葉いもちの発生が広がる可能性がありますので、葉いもちを確認した圃場では速やかに薬剤散布を実施し、防除対策に万全を期してください。

《防除対策》

- 1) 葉いもちの発生圃場では、薬剤散布（下表参照）を行う。未発生圃場では、圃場をよく観察して葉いもちの早期発見に努め、発生を認めたら防除を行う。
- 2) 補植用の取り置き苗は伝染源となるので、早急に処分する。

表 主な防除薬剤（下記単剤の他、下記成分を含む混合剤）

薬 剤 名	農薬使用基準		
	使用時期	使用回数	希釈倍率・処理量
ラブサイド粉剤DL	収穫 7 日前まで	6 回以内①	3 ～ 4 kg/10a
ラブサイドフロアブル	収穫 7 日前まで	6 回以内①	1000 ～ 1500 倍
ビーム粉剤DL	収穫 7 日前まで	3 回以内	3 ～ 4 kg/10a
ビームゾル	収穫 7 日前まで	3 回以内	1000 倍
カスラブサイド粉剤 3 DL	収穫 14 日前まで	5 回以内①	3 ～ 4 kg/10a
カスラブサイドゾル	収穫 14 日前まで	5 回以内①	1000 ～ 1500 倍
ブラシン粉剤DL	収穫 21 日前まで	2 回以内	3 ～ 4 kg/10a
ブラシン水和剤	収穫 30 日前まで	2 回以内	1000 倍
ブラシンフロアブル	収穫 21 日前まで	2 回以内	1000 倍
イモチエース粒剤	収穫 35 日前まで	1 回以内	3 kg/10a
オリブライト 1 ^{kg} 粒剤	収穫 45 日前まで	1 回以内	1 kg/10a
オリブライト 250G	収穫 45 日前まで	1 回以内	250g/10a
オリゼメートパック	収穫 14 日前まで	2 回以内	パック 20 ～ 26 個/10a
オリゼメート粒剤	葉いもち初発 10 日前～初発時②	2 回以内	3 ～ 4 kg/10a
コラトップ粒剤 5	葉いもち初発 10 日前～初発時③	2 回以内	3 ～ 4 kg/10a
コラトップジャンボ	葉いもち初発 20 日前～初発時③	2 回以内	パック 10 ～ 13 個/10a
嵐粒剤	葉いもち初発 10 日前～初発時④	1 回以内	3 kg/10a

①：穂ばらみ期以降は 4 回以内。②：穂いもちには出穂 3 ～ 4 週間前、収穫 14 日前まで。
③：穂いもちには出穂 30 日前～5 日前まで。④：穂いもちには出穂 25 日前～5 日前まで、但し収穫 21 日前まで。穂いもちの場合は 2～3kg/10a。

なお、農薬の使用に当たっては、農薬ラベルの記載内容を確認して農薬使用基準を厳守し、安全・適正に使用するとともに、周辺農作物等への農薬飛散によるトラブルが発生しないよう十分注意してください。また、薬剤散布後少なくとも 7 日間は落水やかけ流しをしないようにしてください。